

第13期 松戸市緑推進委員会

第10回委員会

1. 日時 令和8年6月29日（金）15：00～16：00
2. 場所 松戸市役所 市民サロン （新館5階）
3. 出席者

○緑推進委員

柳井重人・平岡 考・茂木もも子・高橋盛男・小嶋 功・石川静枝・藤田博美・
藤田 隆・榎谷有三・河野芳久・小松信春・滝本 実・南部 朗

○松戸市

柳下浩司 （街づくり部部長）
桜井昌彦 （街づくり部審議監）
布施 優 （公園緑地課課長）
稲吉かなえ （公園緑地課課長補佐）
木村高德 （公園緑地課 21世紀の森と広場管理事務所 所長）

○兼事務局（みどりと花の課）

三末容央（課長）・木原 茂（補佐）・和宇慶さやか（主任）・松田圭史（主任）・
岩田 昇（主査）

○傍聴 0名

事務局より本委員会の成立について、委員人15名中13名の出席により成立している旨報告あり。

4. 議事次第

1 開会

2 会長選出

3 議事

- 1) 前回委員会の議事要録の確認について
- 2) 答申・提言および活動報告について
- 3) その他

4 閉会

（事務連絡等）

議事1) 議事要録の確認について

会長

事前に送付した議事要録について、事務局から修正の説明をお願いします。

事務局

事前に連絡をいただいた部分について修正があります。

資料1をご覧ください。こちらは議事録14・15ページの切り抜きとなります。こちらの赤字部分を修正案とさせていただきます。

会長

ただいまの事務局の修正案も含めて、意見はあるか。
特になければ、これで議事要録とする。

——承認——

議事2) 答申・提言および活動報告について

会長

議事2 答申・提言および活動報告について、事務局より説明をお願いします。

事務局

こちらは前回の委員会でいただいたご意見と高橋委員会らの提案を踏まえて事務局で修正した案を6月5日に皆様へ送付いたしました。

そこでのご意見を基に事務局で修正した案を6月18日に柳井会長へご確認いただいて修正した最終案が、本日皆様のお手元に配布させていただいている「答申・提言および活動報告」となっております。

こちらが本日、市長へ答申としてお渡しするものになりますので、ご確認ください。

会長

最終的に私の方で修正を加えていますので、ご確認ください。

特に鑑と18ページからの「第14期委員会への引き継ぐ課題」をご確認いただければと思います。

会長

補足説明させていただきますと、今回の諮問に対する答申は、最終答申ではなくて中間

答申になるということが1つ大きなポイントだと思います。

この2年間いろいろ検討していますが、スケジュール的には次期の委員会まで具体的なフォレストマネジメントについて、さらに詰めて検討するということになります。これは委員会からの提言になっている「みどりのプラットフォーム」についてもそうなります。

いろいろ検討した結果、今後は専門的な知見と調整能力を備えた「みどりの中間支援機能」が必要で、それを持続的に遂行できる体制を考えていくということについて提言をしていますし、それに関して実践的にしていこうとすることも大きなポイントになっております。

それらが17ページからの「提言および第14期委員会へ引き継ぐ課題」に書いてありまして、「フォレスト・マネジメントの仕組みづくり」は来期の委員会で最終答申となっていく予定です。

公園をはじめとした開かれた「みどり」についても、公園の魅力アップとか、公園に準じるようなスペースを市民緑地も含めて第14期に引き継いでいくものになっております。

第14期では、最初にこのことを一度確認して、どう進めていくかということを検討することになります。

文章については高橋委員に相当見ていただいて、当初に比べてすっきりして、わかりやすく論理的になったと思います。

ありがとうございました。

それでは、これをもって緑推進委員会の「答申・提言および活動報告」として確定してよろしいでしょうか。

————承認————

会長

ありがとうございます。

それでは皆様のお手元にある資料のとおりで最終決定とします。

この後のことについて事務局より説明をお願いします。

事務局

ではスケジュールを説明いたします。

この後、16時に市長が市民サロンへ入室予定となっています。

その後、会長より市長へ答申の提出をいたします。

その流れで市長と緑推進委員での記念撮影をしていただきます。
その後、市長と16時30分まで懇談をする予定となっています。
懇談の時間は20分程度となります。懇談では委員の皆さまから市長へ答申や提言に関わるもの、また、ご自身の「松戸のみどり」への想い等、一人ずつお話しいただきます。
お時間には限りがありますので、一人1分程度を目安にお願いします。
委員の皆さまには、どんなことを市長にお伝えするか整理していただければと思います。

会長

この委員会のことであったり、松戸市の「みどり」であったり、一人1分程度にはなりますが、直接お話できる機会はなかなかないと思いますので、よろしくお願いします。

事務局

ここで今期の委員会で退任される委員の紹介をしたいと思います。
今期で退任となるのは2名となります。
お二人とも長い間委員を務めていただきまして、ありがとうございました。
では、退任される委員から一言いただきたいと思います。

委員

10年間お世話になりました。
緑の基本計画の改定に関わることができたことが強く印象に残っています。
手に取りたくなるような、かわいいイラストが表紙の基本計画を行政が作ったというのが珍しいことだと思いますし、市民への理解促進という側面から素晴らしいと思います。
他の行政からの計画書やその他の出版物と比べても特徴が出て良かったと思っています。
今期から取り組んでいる「フォレスト・マネジメントの仕組みづくり」ですが、今回が中間答申で来期に最終答申を目指しているということになります。
こちらについては勉強していきたいと思っていますし、里やま応援団のメンバーとして関わることも多いと思いますので、今後もよろしくお願いします。
サロン部会の活動では町田に行こうという企画がありましたが、こちらはまだ実現できていないので進めていきたいと思っています。
2週間ほど前に等々力溪谷へ行きましたが、こちらでは「世田谷トラストまちづくり」という公益財団法人が関係して崖線を守る活動をしていました。
青梅から続く多摩川の崖線にある自然を保存する活動について、関係自治体と協議会を作ったり、市民活動が活発だったり、という情報が発信されていて、「松戸も同じようなことをしているのに」という少し残念な気持ちになりました。
多摩川と江戸川では状況が多少違うので同じことはできないかもしれませんが、斜面林

が残っているので、そこを守るような活動とか、周辺自治体との協力体制など松戸でも考えられることがあると思いました。

委員

私が住んでいたところが神奈川県の大磯という場所で、マンションや大きな建物が少ない街でした。

そんな場所では保守的な意見が大きくて、ある事業で木を1本切るのにも大騒ぎになるような風土ということもあって近代的なものが極端に少ないところでした。

松戸市に引っ越してきた時に、緑がいっぱいあるところで「なんで緑推進なんだろう」というのが緑推進委員会への出発点でした。

私は東京都に昭和40年に入庁していますが、美濃部知事が昭和46年に「広場と青空の東京構想」という計画を打ち出して緑化を推進したというのを経験しています。

個人的な感想としては、松戸市民の皆さんは緑に対して非常に強い思いを持っていると感じていて、人口が増えて街が発展していく中でこれだけの緑を残してきたことはすごいと思っています。

緑が多いことはいいことだという思いから色々考えてきましたが、大したことが出来ずに申し訳ないという思いと、これからも「みどり」に対して前進していったほしいと思っています。

事務局

本日の委員会に先立ちまして、先週、会長にお時間をいただきまして市長と面会をしてきましたので、そのお話をさせていただきたいと思います。

本日の30分という時間だけでは委員会のことや皆さんの思いを市長に届けるには時間が足りないと考えて設定したことになります。

面会の中で初めに私の方から、参考資料3ページの図に基づいて緑推進委員会の話をし、緑の基本計画や市民憲章に関すること、それと今日の松戸の「みどりの市民活動」の活躍には、緑推進委員会が大きく寄与していることなどを説明させていただきました。それに加えて、今回の答申となります、「フォレスト・マネジメントの仕組みづくり」のお話をさせていただきました。

秋山の森を例に挙げて、今後こうした事態を招かないためにも、この「フォレスト・ママネジメントの仕組みづくり」が必要なんだということを柳井会長にさせていただきました。

「松戸しみどりの基本計画」の表紙について、松戸市がこれからの「みどり」をどんなものにしたいのか、一目で分かるようなものにしたいという思いから、千葉大の学生さんに絵を書いていただいたお話もしました。

みどりのプラットフォームについても、金ケ作育苗圃と周辺の森を市民緑地として整備

して、多くの方に「みどり」の恵みを伝える場にしたいというお話しもしております。

会長

先週面会をさせていただきました。最初は「どこにお住まい」みたいな話から始まりました。それについては意外なところで関係性があったりしました。

まずお話ししたのは、松戸の「みどり」に関する取り組みは全国的にみて、レベルが高く大切なものだというお話しをさせていただきました。

例えばということでお話させていただきましたけど、2年ほど前に都市緑地法が改正になりました。大きな改正のポイントは、特別緑地保全地区の指定をどんどん進めていくことと、それをちゃんと維持していくために機能維持増進事業というものの創設すること、買い取りのために団体作ること等が改正の柱となっています。

有識者会議にみどりと花の課長が参加していて、その議論が法律の改正に繋がっていたり、リアルな現状を見るために国土交通省の都市局長が松戸に来て色々と視察したことも反映されて改正に繋がっている。

また、民間が都市開発をする中で、緑をどう増やしていこうかというので制度を作りましたが、それは私が座長で有識者会議に関わっていますので、松戸に関わる人間が国の緑に関する制度、政策にコミットできたということについて話しました。

それから市民活動、その中で特に樹林地の保全に関して、関さんの森から考えると、30年ぐらいの期間になりますし、里やまボランティア入門講座は今年が24回目となります。これらは人材の発掘や育成をするという松戸市から始まったもので、近隣自治体でも取り入れられて私も講義をしています。

東葛エリアで北総台地の周りという同じような環境の中では、先進的な取り組みとして始めて、それを維持してきたストックが今の活動でしょうし、近隣から見るとベンチマークのようになっているという話しをしました。

秋山の森についても話題になりました。セーブザグリーン@秋山に市長もお子さんを連れて参加したことがあるそうです。

森をオープンにすることや子供達と一緒に何かをやる意義とか、そういったことについて意見交換をしましたし、あのような場所がなくならないようにしていくためにフォレスト・マネジメントが必要で、今回は中間答申をしますという話しをしました。

また、連携についても話しをさせていただきました。行政でも同じだと思いますが、「みどり」は「子育て」「経済」「観光」「生物多様性」「廃棄物」「循環」「景観」などの多くのテーマと繋がることが出来るもので大切にすべきものだし、その考えが「みどりのプラットフォーム」に繋がっていくものだという話しもさせていただきました。産官学や自治体間の連携など、スケールによって様々な繋がりがあると思います。

先ほど話しにあったような自治体間の広域連携については、昔は東葛地区でも会館に集まってやっていたような気がします。

松戸の街づくりにおいて、「みどり」は大きな魅力になるものだということも話しをしました。都市づくりに「みどり」をリンクさせて魅力のある街にして、それをどう発信していくかというようなことも話題としてあがりました。そこについては「まつどの魅力発信課」というものを創設して力を入れていこうと考えているようでした。

その他にも話しをしましたが、30分という時間でもあっという間に過ぎてしまいましたので、本日の皆さんの1分というのは一瞬だと思います。思いをまとめてお話しいただければと思います。

松戸市長は最初の大きな公務として、「みどりの愛護」のつどいがありましたので、引き続き「みどり」をよろしくとのお話しもありました。

委員

松戸市では新庁舎を建てるという計画があると思いますが、その計画に「みどり」というものを入れて整備していけば、市民へのアピールにもなりますし、ある意味では「みどり」としてのスタートラインにもなると思っています。

逆にみどりへの配慮がない整備計画となってしまうと、この先の松戸市の姿勢として「みどり」の優先度が下がってしまうような気がしています。

そのあたりのことを後で市長へお話ししようと思っています。

会長

そのことに対しての直接の答えじゃないかもしれませんが、今いろんなところで公共施設に、公園とか緑地をセットで作るのが、基本的な流れになっていると思います。

私が制度設計に係わった緑地の認証についても、従前より緑が減った案件は受け付けないことにしています。

イギリスではバイオダイバーシティネットゲインとして、開発に際して生物多様性の増加を義務としています。

そんな世の中になっていますので、松戸市がちゃんと受け取って庁舎や駅の整備に活かしてほしいと思います。

委員

市役所に来る人が手続きをするためだけではなく、緑や花に囲まれている素晴らしい場所を楽しみに来るようになるといいなと思います。

委員

行政の業務だけのものではなく、施設自体に魅力があって解放されているような建物になるといいですね。

会長

では、本日の委員会はここで閉会します。

2年間、本当にありがとうございました。

ただ、まだまだ課題はございますので、委員を継続される方は引き続きの議論をよろしくをお願いします。

それから退任される方も、サロン部会をはじめとする部会の活動には参加できますし、それぞれにご自身の生活の場、暮らしの中で、「みどり」と係わることもあるでしょうし、いろんな催しをやったり参加することもあると思います。

引き続き緑推進委員会も努力して参りますので、是非サポーターとして、いろんな活動に顔を出していただいて緑推進委員会にもアドバイスをいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

では、これもちまして、第13期緑推進委員会を終了いたします。

どうもありがとうございました。

———閉会———

